

事業所名		オリーブ				支援プログラム（参考様式）		作成日	2025 年	1 月	25 日
法人（事業所）理念		「オリーブ」は障がい児の母たちが作った事業所です。子どもたちの自立のための第一歩となるような場を…との理想を持ち寄りスタートしました。当事者目線を大切に、子どもたちの個性を生かしつつ、本人・ご家族・スタッフ…「みんなを笑顔に！」をモットーに活動しています。									
支援方針		子どもたちの「できない」ことを数えるのではなく、「できる」ことを伸ばして行けるようご家庭・学校等と連携しながらの支援を心がけています。「できない」ことを「できる」ようにガンバらせることをめざすのではなく、穏やかに過ごしながら、人(友だち・スタッフ…)とのかかわりの中で、信頼関係や社会性を身につけていけるようにする。									
営業時間		10 時	0 分から	17 時	30 分まで	送迎実施の有無		あり	なし		
		支 援 内 容									
本人支援	健康・生活	利用時は検温を実施し、日々の健康状態を把握するようにしています。特にアレルギーやてんかん発作等、基礎疾患のある場合は、ご家庭との連携を密にし、事業所でも発作記録を残しています。ぼうこう機能障害のメンバーや排泄自立未獲得の低学年児童が複数名在籍のため、トイレトレーニングや排泄後の清拭等必要に応じて実施し清潔保持をしています。日々の活動の中では、終了時間前に掃除の時間を設け、くじ引きで分担を決め、楽しみながら活動しています。長時間活動の日には、クッキングや買い物学習、外出等、自立生活支援のプログラムを実施しています。									
	運動・感覚	運動面では、主に長時間活動の日には、ザビエル公園でボール遊びや鬼ごっこをしたり、電車好きの子が多いので、電車ウォッチングをかねて散歩に出かけたりしています。室内では、小学生は「かくれんぼ」や「だるまさんがころんだ」などの小集団での遊びを楽しんでいます。体育大会前などは、みんなでダンスの練習をしたりと、先生役をつとめてくれます。製作では、スライム作りやアイロンビーズ、羊毛フェルトなど、手指を使って集中力を養う取り組みをしています。									
	認知・行動	学校の宿題やプリント類の取り組みでは、個々の理解度に応じて算数セットのブロックや時計ボードなどを使用してサポートをしています。個別の自立課題については保護者・学校との連携により設定しています。遊びの場面では、タブレットやゲームなどは「30分したら10分休憩」のルールの下でそれぞれタイマーをセットして切り替えることができます。タイマーが鳴ると「〇〇ちゃん休憩～」と、子どもたち同士で声かけしたりしています。									
	言語コミュニケーション	その日の活動は、基本的に各々が自主的に決めています。個々の特性に応じて、カード選択式・手書き等のスケジュールを使用し、自分でその日の予定を立てられるようにしています。発信の苦手なメンバーには要求ボードを作成し、カードコミュニケーションが可能なようにしています。また、50音ボードやタブレット入力など個々のスキルに応じた方法でサポートしています。コミュニケーションマインドが育つように、学校での出来事などスタッフとの何気ない会話を大切にしています。									
	人間関係社会性	利用者自身が個々にスケジュールを作成し、主体性を持ってその日の活動を決めています。小1～高3までの幅広い年代での活動の中で、それぞれが自分のできることを見つけられるようにしています。個々の活動の他に、ままごとやお絵かき、プラレールなど、お友だちといっしょに遊んだり、宿題も「いっしょにしよう～！」と声をかけ合う姿があり、スタッフが促すより、自然と学習に向き合えるようになっています。長時間活動の日には外出や外食に出かけ、道路や公共交通機関等でのルールを学ぶ機会を持っています。									
家族支援		日々の活動報告書とは別に、連絡帳を用意し保護者から相談を受けることが多く、丁寧な返事を心がけています。事業所として情報不足の件に関しては、情報収集や関係機関の助言を得るようにしています。				移行支援		高3生の卒業時には、オリーブでの活動のようすや本人の障害特性・コミュニケーションの取り方、興味や関心のあること、配慮事項…等引継ぎ文書を作成。担当者会議の開催があれば直接お伝えしています。			
地域支援・地域連携		同じマンションの方とは子どもたちも積極的に挨拶を交わしています。ペットボトルのリサイクル活動や、公園では地域の子どもたちと一緒にボール遊び等をしています。近隣の障がい者作業所のイベントに参加したり、月一回金岡公園体育館の障害児向け開放に参加し交流の機会を持っています。				職員の質の向上		職員の新規採用時には、研修を実施し障害特性や障害者虐待防止法等、基本的な姿勢や考え方を学んでから支援にあたるようにしています。利用児の様子については、すぐにスタッフ間で共有し方向性を確認して対応できるようにしています。			
主な行事等		お誕生会・金岡公園体育館障害児向け開放・お花見・ハロウィンパーティー・クリスマス会・初詣・長居障害者スポーツセンター外出・「共に生きる障がい者展」等、障がい者作業所のイベントへの参加。プラネタリウムや防災センター等の社会見学									